

## もしも水がなくなってしまうたら

山添村立山添中学校 三年

大矢 桃里

私はとても雨が嫌いでした。なぜなら、私の家の目の前にあるダムが濁ってしまった、いつもは見える魚が見えなくなってしまうたり、なんだか少し気持ちが悪くなるようになってしまったり、からです。だから私は雨なんて降らなければいいのと思うってしまうことがよくありました。しかし、雨が全然降らなければ、木や草が枯れてしまったり、田んぼのお米も畑の野菜もできなくなってしまうかもしれません。そして、私たちの暮らしには欠かせない水が少なくなり、水不足になってしまいかもしれません。

現在の日本では水に困ることが少ないですが、世界で安全な飲み水を確保できない人は約二〇億人もいます。そして、二〇五〇年には世界人口の半数以上にあたる約五〇億人が水不足に苦しむであろうと予測されています。

私は毎日、きれいで安全な水をたくさん使っています。しかし、水不足になるときれいで安全な水が使えなくなってしまうかもしれないのです。私はこの、普段あたり前のように使っている水のありがたみを忘れてしまっているように感じます。そこで私は、もしも水がなくなってしまうたらどうなるのかを考えてみました。

もしも水がなくなってしまうたら、まず私たち人間は今のような生活をするのが難しくなり、生きることさえ難しくなってしまう。水がなくなってしまうという事は、飲み水がなくなってしまうのはもちろん、水道の水が使えないため、手洗いやうがい、お風呂に入ることもできなくなってしまうので、その他にも、トイレに困ってしまうたり、食事や洗濯もできなくなってしまう。魚

が泳いでいるのも見れなくなってしまうし、私たちがプールに入って泳いだりすることもできなくなってしまうのです。

また、主成分が水である化粧水や乳液を使うこともできなくなってしまうかもしれないですね。私は最近、美容に興味があり化粧水や乳液を毎日欠かさず使っています。だから、もしも水がなくなってしまうたらこのようなものも使えなくなってしまうかもしれないという事にとっても驚きました。

私は、もしも水がなくなってしまうたらどうなるのかを考えてみて、私たちが生活するのが難しくなってしまうなどの悪いことばかりだなと思いました。しかし、一つだけ良いことがあります。それは、水のありがたみや水の大切さに改めて気づくことができたことです。今、私たちがあたり前のように飲んだり、使ったりしている水はなくてはならないものだということに気づきました。そして、きれいで安全な水はほんとうに貴重だから無駄遣いをせずに大切にしないといけないなと思いました。

私たちがこれからもきれいで安全な水を使

っていくためには、私たちが水に感謝すると良いのではないのでしょうか。今、あたり前のようにたくさん使うことができている水にも限りがあります。それを知らずに水を使い続けていっていると、いつかはほんとうに水がなくなってしまうかもしれません。だから、私たち一人一人が今使えている水に感謝し、無駄遣いをしないように心がけることが大切だと思います。これから心もはずっときれいで安全な水を使うことのために、私は今日からさっそくできる